**身体障害者診断書・意見書(　　　　　障害用)**

第１号様式

**総括表**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 |  | 大正昭和平成令和 | 年　　　月　　　日生 | 男 ・ 女 |
| 住　　所 | 横浜市 |
| ① 障害名（部位を明記） |
| ② 原因となった疾病・外傷名 | 交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災自然災害、疾病、先天性、その他（　　　　　） |
| ③ 疾病・外傷発生年月日　　　　　　　年　　月　　日　・場　所 |
| ④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）障害固定又は障害確定（推定）　　　　　　　　年 　月 　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ⑤ 総合所見　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　軽減化【将来再認定】 要　　　　　・不要　（再認定の時期　　　年　　　月）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　重度化 |
| ⑥ その他参考となる合併症状 |
| 上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。令和　　　年　　　月　　　日病院又は診療所の名称所　　　在　　　地診療担当科名　　　　　　　　　科　　医師氏名　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 身体障害者福祉法第15条第3項の意見（障害程度等級についても参考意見を記入）　障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に・該当する　　　（　　　　　　　　級相当）・該当しない |
| （注意）１　「①障害名」には現在起こっている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右片麻痺、心臓機能障害等　　　　　を記入し、「②原因となった疾病・外傷名」には緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等の疾　　　　　患名を記入してください。２　歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見書」(別様式)　を添付してください。３　障害区分や等級決定のため、横浜市社会福祉審議会から改めてお問い合わせする場合があります。 |

〔横浜市障害者更生相談所〕

**身 体 障 害 者 診 断 書**

**肢体不自由の状況及び所見**氏名

神経学的所見その他の機能障害（形態異常）の所見（該当するものを○で囲み、下記空欄に

追加所見記入）

　１　感覚障害（下記図示）： なし・感覚脱失・感覚鈍麻・異常感覚

　２　運動障害（下記図示）： なし・弛緩性麻痺・痙性麻痺・固縮・不随意運動・しんせん・

　　　　　　　　　　　　　　運動失調・その他

　３　起因部位　　　　　 ： 脳・脊髄・末梢神経・筋肉・骨関節・その他

　４　排尿・排便機能障害 ： なし・あり

　５　形態異常　　　　　 ： なし・あり



|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 右 |  | 左 |
|  | 上 肢 長cm |  |
|  | 下 肢 長cm |  |
|  | 上腕周径cm |  |
|  | 前腕周径cm |  |
|  | 大腿周径cm |  |
|  | 下腿周径cm |  |
|  | 握　　力kg |  |

参 考 図 示

　× 変形　　　　切離断　　　　感覚障害　　　　運動障害

（注意）関係のない部分は、記入不要です。

動作・活動　　自立－○　半介助－△　全介助又は不能－×、（　　）の中のものを使うときは、

　　　　　　　それに○

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 寝返りする |  | シャツを着て脱ぐ |  |
| あしを投げ出して座る |  | ズボンをはいて脱ぐ（自助具） |  |
| いすに腰掛ける |  | ブラシで歯をみがく（自助具） | 右 | 左 |
| 立つ（手すり、壁、杖、松葉杖、義肢、装具） |  | 顔を洗いタオルで拭く |  |
| 家の中の移動（壁、杖、松葉杖、義肢、装具、車いす） |  | タオルを絞る |  |
| 洋式便器にすわる |  | 背中を洗う |  |
| 排泄の後始末をする |  | 二階まで階段を上って下りる（手すり、杖、装具、松葉杖） |  |
| （はしで）食事をする（スプーン、自助具） | 右 | 左 | 屋外を移動する（家の周辺程度）（杖、松葉杖、装具、車いす） |  |
| コップで水を飲む | 右 | 左 | 公共の乗物を利用する |  |

（注意）身体障害者福祉法の等級は機能障害（impairment）のレベルで認定されますので、（　）の中に○

　　　　がついている場合、原則として自立していないという解釈になります。

計測法 ：

上 肢 長：肩峰　→橈骨茎状突起　　　　　　　前腕周径：最大周径

下 肢 長：上前腸骨棘　→（脛骨）内果　　　　大腿周径：膝蓋骨上縁上10cmの周径

上腕周径：最大周径　　　　　　　　　　　　　　　　　　（小児等の場合は別記）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　下腿周径：最大周径

〔横浜市障害者更生相談所〕

〔横浜市障害者更生相談所〕

関節可動域（ＲＯＭ）と筋力テスト（ＭＭＴ）（この表は必要な部分を記入）

筋力テスト（　）　関節可動域　　　　　　筋力テスト（　）　　　関節可動域　　　筋力テスト（　）

 90 60 30 0 30 60 90 120 150 180

180 150 120 90 60 30 0 30 60 90

**母**

**示**

**中**

**環**

**小**

**母**

**示**

**中**

**環**

**小**

（　　）前屈　　　　　　　　　　　　　　　 後屈（　　）頸（　　）左屈　　　　　　　　　　　　　　　　右屈（　　）

体幹

（　　）前屈　　　　　　　　　　　　　　　 後屈（　　）　（　　）左屈　　　　　　　　　　　　　　　　右屈（　　）

**右　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　左**

 90 60 30 0 30 60 90 120 150 180

180 150 120 90 60 30 0 30 60 90

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）外転　　　　　　　　　　　　　　　 内転（　　）肩（　　）内転　　　　　　　　　　　　　　　　外転（　　）

（　　）外旋　　　　　　　　　　　　　　　 内旋（　　）　（　　）内旋　　　　　　　　　　　　　　　　外旋（　　）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）肘（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

前腕

（　　）回外　　　　　　　　　　　　　　　 回内（　　）　（　　）回内　　　　　　　　　　　　　　　　回外（　　）

（　　）掌屈　　　　　　　　　　　　　　　 背屈（　　）手（　　）背屈　　　　　　　　　　　　　　　　掌屈（　　）

**母**

**示**

**中**

**環**

**小**

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

中手指節（ＭＰ）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

**母**

**示**

**中**

**環**

**小**

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

近位指節（ＰＩＰ）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

 90 60 30 0 30 60 90 120 150 180

180 150 120 90 60 30 0 30 60 90

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）　（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）外転　　　　　　　　　　　　　　　 内転（　　）股（　　）内転　　　　　　　　　　　　　　　　外転（　　）

（　　）外旋　　　　　　　　　　　　　　　 内旋（　　）　（　　）内旋　　　　　　　　　　　　　　　　外旋（　　）

（　　）屈曲　　　　　　　　　　　　　　　 伸展（　　）膝（　　）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（　　）

（　　）底屈　　　　　　　　　　　　　　　 背屈（　　）足（　　）背屈　　　　　　　　　　　　　　　　底屈（　　）

**備　考**

**注　意** △印は、筋力半減（筋力３該当）

１　関節可動域は、他動的可動域を原則とする。　　　　　　　　 　○印は、筋力正常又はやや減（筋力４，５該当）

２　関節可動域は、基本肢位を０度とする日本整形外科学会、 　５　（ＰＩＰ）の項 母指は（ＩＰ）関節を指す。

　日本リハビリテーション医学会の指定する表示法とする。　　　６　ＤＩＰその他手指の対立内外転等の表示は、必要に応

 ３　関節可動域の図示は　　　　　　　　　のように両端に太線　　　じ備考欄を用いる。

　をひき、その間を矢印で結ぶ。強直の場合は、強直肢位に波　　７　図中塗りつぶした部分は、参考的正常範囲外の部分で、

 　線（　　）を引く。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　反張膝等の異常可動はこの部分にはみ出し記入となる。

 ４　筋力については、表（　）内に×△○印を記入する。　　　　　例示

 　×印は、筋力が消失又は著減（筋力０，１，２該当）　　　　　（×）伸展　　　　　　　　　　　　　　　　屈曲（△）

〔横浜市障害者更生相談所〕